

# アル・アクサ洪水第789日目：行方不明の親族に関する情報がない一方、ガザの数千人に援助妨害が続く

Palestine Chronicle 2025年12月1日、脇浜義明訳 \*脚注は訳注



スセイラト難民キャンプで飲料水を確保しようとしているガザの子どもたち。(Photo: via QNN)

## 主要事項

- \*イスラエルの人道支援物資搬入妨害が続いているため、ガザ回廊の状況は厳しく、避難民世帯は食料、医療、基本的生活必需品がない状態である。
- \*行方不明の親族の情報が分からままの家族がたくさんある。瓦礫に埋もれているか、病院で身元不明の死体としてあるか、共同墓地に埋葬されているか、などと心配している。
- \*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者70、103人、負傷者170、985人で、その多くは女性と子どもである。

## 最新情報

12月2日 1:10 am

- \*ワディ・ヒルウェ情報センター<sup>1</sup>：イスラエル裁判所は、イタマール・ベン・グヴィル国家安全保障相殺害計画の容疑で、エルサレム出身のパレスチナ人2人に懲役刑を判決した。マンスール・サファディは9年6ヶ月の懲役、ムハンマド・サライメは8年の刑を言い渡された。2人は長時間にわたる厳しい尋問をされたと伝えられる。

<sup>1</sup> イスラエルに人権侵害されているシルワン村の歴史的事実を記録するNGO。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル軍は、イスラエル兵1人を負傷させた車両激突作戦の実行犯とされるパレスチナ人を捜索するために、ヘブロンのアル・アハリ病院を急襲し、アル・メザン病院を包囲した。イスラエル軍は、容疑者の運転手に向けて発砲したが逃亡され、道路封鎖をして捜索を行っていると発表した。

\*ハマス声明：我々は西岸地区ハルフル近くでの車による体当たり作戦を称賛する。それは、イスラエルの日常的な殺害、襲撃、家屋破壊、組織的虐待に対するパレスチナ人の正当な反応である。我々は占領が続く限り抵抗を続ける。

\*イスラエル軍：イスラエル軍は、ヘブロン近郊のイエフーダ交差点で車両体当たり攻撃の報告を受け、同地区で大規模な捜索活動を行うと発表した。

\*アナドル通信：ガザ市民防衛団は、激しい砲撃が続く中で、ガザ市東でイスラエル軍の銃撃でパレスチナ人男女2人が負傷したと報告した。数十世帯が激しい砲撃で閉じ込められており、安全な避難を求めている。

## 12月2日 1:04 am

\*パレスチナ・クロニクル：FIFA アラブ・カップでパレスチナはカタールに1:0で勝利し、数百万人がジェノサイドで苦しむ中、象徴的な勝利となった。

## 12月1日 10:38 pm

\*パレスチナ・クロニクル：新世論調査によると、米国の登録有権者の間のイスラエルへの同情は「過去最低」にまで落ち込み、「過半数」の有権者が「イスラエルがガザで行っているのはジェノサイドに相当する」に同意している。この変化は、トランプ大統領の「米国ファースト」支持層において特に顕著で、25~29歳層の40.8%がパレスチナに同情し、イスラエル支持を表明したのは24.5%である。

## 12月1日 8:45 pm

\*ハマス声明：ガザに入る支援物資トラックの数は依然として最低限の人道的ニーズを大きく下回っている。イスラエルは必要な支援物資だけでなく商品の搬入も妨害している。我々は、厳しい冬の到来に備えて、移動式住宅ユニットがガザ搬入できるように、仲介者に至急行動するように求める。

\*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相事務所によると、政治的展開と法的圧力が続く中、首相はトランプ大統領と電話会談を行い、大統領から近いうちにホワイトハウスへ来るように招待された。報道によると、両指導者はイスラエルとの国交正常化の拡大とパレスチナ抵抗勢力の武装解除を強調した。

\*イスラエル軍：軍参謀総長が西岸地区トゥバとタンムンを視察し、ジェニンで特殊部隊ヤマムが非武装のパレスチナ人を射殺した事件の捜査状況を視察した。

\*パレスチナ・メディア：アットウファーフ地区のヤファ通り付近で、イスラエル無人機の銃撃でパレスチナ人女性が負傷した。

\*アル・ジャジーラ：赤十字とアル・カッサム旅団のジャバリア北部でのイスラエル人捕虜の遺体捜索活動は、成果なく終わった。捜索チームが、大規模破壊が捜索の主たる障害になっていると述べた。

\*パレスチナ情報センター：報道によると、トゥバ市東部のタヤシル検問所付近で交通事故が発生し、イスラエル兵数名が負傷した。

## 12月1日 8:40 pm

\*パレスチナ・クロニクル：報道によると、米国はレバノン政府に、先週イスラエル軍がベイルートでヒズボラ指導者タバタバイ暗殺に使用したが不発弾となったGBU-39爆弾の返還を緊急要請した。

## 12月1日 8:36 pm

\*パレスチナ・クロニクル：2002年以来イスラエルに拘禁されているパレスチナ指導者マルワン・バルグーティの釈放を求める国際キャンペーンが始まった。

## 12月1日 8:29 pm

\*パレスティナ・クロニクル：パンドールのような人物が米国内で自由に出ることは許されない。彼女の存在には触媒的な可能性があるからだ。彼女は議論を再構成する。彼女は犠牲者を人間化する。[ジュネイド・S・アーマッドの小論](#)を読まれたい。

## 12月1日 5:11 pm

\*パレスチナ・メディア：イスラエル海軍は、ラファの海岸沿いの避難民テントに向けて砲撃した。

\*サラヤ・アル・クッズ旅団：カバティヤの我らの戦士が爆発物と手榴弾でイスラエル軍と交戦し、「トゥファン」爆発装置を使ってイスラエル兵を負傷させ、軍用車両を破壊した。

\*ガザ保健省：新たに1人の負傷者が病院へ搬送され、同時に瓦礫の下から回収された9人のパレスチナ人遺体も病院へ担ぎ込まれた。

\*アル・ジャジーラ：ジェニン南の町カバティヤでの衝突で、イスラエル占領軍はスタン榴弾を発射した。現地の映像には、占領軍の襲撃中に爆発物が爆発する様子が映っている。

\*アル・ジャジーラ：ガザ・イスラム大学は2年ぶりに再開し、イスラエル軍の度重なる攻撃で破壊された校舎を部分的に修理して、学生たちを迎えた。

#### 12月1日 2:22 pm

\*パレスチナ・クロニクル：元南ア外相ナレディ・パンドールはイスラエルの対ハマス戦争を民衆虐殺だとする演説ツアーを米国で行ったために、ビザを米政府から取り消された。彼女のような人物は米国内で自由に動き回ってはいけないのだ。何故なら、彼女の存在は触媒的機能を果たし、被害者を人間と描いて、米国民の間にイスラエルとイスラエルを支援する米国に関する議論を呼び覚ますからだ。

#### 12月1日 2:21 pm

\*チャンネル13：イスラエルの大統領イサク・ヘルツォグはネタニヤフの恩赦要請に対応して、「国家とイスラエル社会の利益」のみを考慮して判断すると述べた。ネタニヤフは、昨日、大統領にたいし、全面的恩赦と、もし有罪となれば懲役刑となる汚職裁判3件の裁判の中止を求める正式要請書を提出した。

#### 12月1日 2:19 pm

\*WAF A：イスラエル占領軍は、ヘブロン南のアル・ブルジ村でパレスチナ人少年を捕まえ、殴打した。地元情報によると、少年は無人の山岳地帯のどこかに拘束されており、身元は明らかではない。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は、西岸地区アル・ビレ市で、パレスチナ人の若者に対し音響榴弾と催涙弾を発射した。占領軍のアル・ビレ攻撃は続いている。

#### 12月1日 1:47 pm

\*パレスチナ・クロニクル：イスラエル占領軍は撤退から1日後に再びトゥバ市とジェニン市に侵攻し、夜間外出禁止令を発令し、空挺部隊着陸を行い、住民を家から追い出した。軍は西岸地区軍事行動をエスカレートしている。

#### 12月1日 12:54 pm

\*チャンネル12：ネタニヤフ首相は、政治的及び安全保障的理由から明日の自分の汚職裁判の中止を要請した。報道によると、裁判所は首相の要請を受諾した。首相は非公開書面で詳細な証言を裁判官に提出することになった。

\*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍はラマッラー北西の村アル・ルッバン・アル・ガルビとランティスを襲撃し、11人のパレスチナ人（ほとんどが元囚人）を身柄拘束した。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍はアル・ビレ市のサテ・マルハバ地区を襲撃した。

#### 12月1日 11:00 am

\*アル・ジャジーラ：赤十字とアル・カッサム旅団の合同チームはジャバリヤ難民キャンプでイスラエル人捕虜の遺体の捜索を開始した。

\*アル・ジャジーラ：UNRWAの広報関係顧問はアル・ジャジーラに対し、イスラエルは6,000台のUNRWAのガザ支援トラックを止めていると言った。10月10日に発効した停戦合意では1日600台の救援物資トラックのガザ入りを規定している。しかし、イスラエルは1日200台のトラックの流入しか許可しない。

\*赤十字国際委員会：ガザには行方不明の親族の安否や所在が分からぬ住民が数千人いる。

\*イエディオト・アハロノト：ネタニヤフ首相は今日の自分の裁判を明日へ延期することを要請した。

\*ガザ保健省：イスラエルから返還されたパレスチナ人15体の遺体を、身元確認できなかつたので、そのまま埋葬することにした。

\*パレスチナ・メディア：トゥバ市の首長アフマド・アル・アサドはアル・ジャジーラに対し、イスラエル軍は撤退後再びトゥバ市中心部に部隊を再配置し、夜間外出禁止令を発令し、住民を自宅から追い出し、家屋を駐留拠点にし、パレスチナ赤三日月社チームが負傷者の手当に行くのを妨害したと語った。

\*イスラエル軍：軍の推定によると、予備役兵と正規兵の30%が来年任務に復帰しない見込み。軍は、兵員不足が国家安全保障を脅かしていると述べ、「予備役兵の家族の70%が、長期任務で危機に面している」「今年任務を継続する意思を表明した将校は37%で、2018年の58%に比べて大幅減少である」「上級指揮官の30%以上が来年退役する予定」と言った。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はトゥバ市を襲撃し、主要道路を封鎖し、夜間外出禁止令を発令した。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル軍ヘリコプターが「イエローライン」内側のハーン・ユニス東部を砲撃した。

\*パレスチナ・メディア：イスラエル軍はトゥルカレム市のアクタバ地区を襲撃した

### 12月1日 1:33am

\*パレスチナ・メディア：地元報告によると、イスラエル占領軍はアル・ブレイシ難民キャンプ北部を砲撃した。

\*パレスチナ・クロニクル：コロンビアのペトロ大統領の米国人弁護士ダン・コヴァリックは、米政府の親パレスチナ・コロンビア大統領制裁や、同じく親パレスチナのベネズエラなどの左派の国々を攻撃する帝国主義的政治攻撃を分析している。

### 12月1日 12:33am

\*パレスチナ・クロニクル：ヒズボラは、レオ14世教皇がレバノン訪問で示した和解と尊厳に基づく平和メッセージを熱意を込めて歓迎し、イスラエルの侵略が続く中でのメッセージを迫力があると述べた。

### 12月1日 12:26am

\*パレスチナ・メディア：地元筋によると、イスラエル占領軍はトゥルカレム市東のヌール・シャムス難民キャンプを襲撃し、激しい砲撃を行った。

\*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル占領軍がジェニンの西の町アッシラ・アル・ハチシャを襲撃し、それに抵抗するパレスチナ人の間で衝突が発生したと報じた。また、特派員は、トゥバ市の北の町アカバを占領軍攻撃し、住宅破壊を行ったと報じた。

\*チャンネル13：イスラエル法務省関係者は「ネタニヤフ首相の恩赦請求は司法制度への脅威だ」「ネタニヤフ首相の恩赦要請は、自分の裁判の全面的停止と自分の完全無罪の実現を強要するものだ」と述べた。

\*PRCS：パレスチナ赤三日月社は、エルサレム北部の町アルラムでイスラエル軍兵士の実弾発射でパレスチナ人2人が負傷した。

### 11月30日 9:41pm

\*イスラエル・メディア：数十人のイスラエル人が、テルアビブのイサク・ヘルツォグ大統領官邸前で、ネタニヤフ首相の恩赦要請を拒否せよというデモを行った。イエディオト・アハロノト紙記者は、大統領府が「大統領はいかなる政党からの圧力にも左右されない」と述べたと報じた。

\*イスラエル・メディア：前首相のナフタリ・ベネットは、ネタニヤフが政界から永久引退することを条件に、ネタニヤフの裁判を取り消す拘束力のある同意を支持すると述べた。チャンネル15は、首相は引退もしないし、不正行為の自白もしないという首相側近の発言を報道した。チャンネル12は、「恩赦の条件は設定されておらず、恩赦に関する法的審査手続きはすでに始まっている」という大統領府の発言を報道した。

\*アル・ジャジーラ：レオ14世教皇は、二国解決がパレスチナ人とイスラエル人の間の和平実現への唯一の道であると、改めて強調した。しかし、教皇は、それが「進行中の戦争を終結させる唯一の道」であるにも関わらず、イスラエルが拒否していると述べた。今日、教皇は2日間訪問のためにベイルートに到着した。これは5月就任以来2度目の外遊である。

### 11月30日 6:08pm

\*パレスチナ・クロニクル：イランのハッカー・グループ「ハンザラ」は、昨夜遅く、イスラエル人上級科学者の自動車をこじ開けて侵入し、花束と「我々はお前の空気を吸っている」という脅迫メッセージを残したと発表した。